

# 浮棧橋の更新により耐災害性を強化し、 継続的な救助等を実施する

## 【対策】25 海上保安施設等の耐災害性強化対策

対策概要：被災又は停電等により救助・支援活動等に支障を来すおそれがある海上保安施設（庁舎・航空基地・船艇基地・陸上通信施設）等について、非常用電源設備の設置や燃料供給体制の確保等を実施し、耐災害性の強化を図ることで、同施設等の機能喪失を防止する。

府省庁名：国土交通省

### 【事例】壱岐海上保安署浮棧橋整備事業

- 実施主体：海上保安庁 第七管区海上保安本部
- 実施場所：長崎県壱岐市
- 事業概要：壱岐海上保安署巡視艇の浮棧橋は、製造から30年以上が経過しており各種部材の老朽衰耗が著しく、災害による物的被害が発生し、係留施設としての機能を喪失することにより、当該施設を拠点とする巡視艇の継続的な救助・支援活動等の実施や巡視艇船体及び職員の安全確保に支障が生じるため、物的被害の発生を未然に防止すべく、浮棧橋の更新を実施。
- 事業費：1.25億円  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1.25億円)
- 効果：浮棧橋の更新により耐災害性の強化を図ることができ、台風等の災害による被害を未然に防止し、安定した係留施設を確保することで、**継続的な救助・支援活動等の実施が可能**になるとともに、**巡視艇船体及び職員の安全確保が可能**になる。

